



良質多収の小麦新品种 「きぬあかり」の開発



（作物研究部開発）

背景

愛知県的小麦は「農林61号」が主力品種として栽培されてきました。

しかし、「農林61号」は収量性が不安定で倒伏しやすいいうえに、主な用途である日本めん用としては、めん色、食感の評価が低いことが問題でした。

そのため、試験場では、2000年から新しい小麦品種の開発に取り組みました。

成果の内容

2011年に品種登録された「きぬあかり」は、耐湿性、耐倒伏性に優れ、作りやすいいうえに、収量が高く、日本めんに適した小麦品種です。

「農林61号」に比べて色が明るく、生地が強く、コシのある日本めんを作ることができます。また、ゆでめんの食感（弾力性、滑らかさ、硬さ）が優れています。



愛知県農業への貢献

「きぬあかり」は愛知県の気候に合い、栽培がしやすいため、愛知県小麦栽培面積の8割以上で栽培されています。「きしめん」や「味噌煮込みうどん」など独自のめん文化を持つ愛知県の食文化に応えることのできる、有望な小麦品種です。

（作物研究部）